

<「過ぎてしまえば一番幸せ」期：「ワクワク・ドキドキ」編-2>

対象（時間）：小学1～3年生の親（110分程度）

## くらべないで！ ～比べられる価値と比べられない価値～

【ねらい】他の子どもと比べることの功罪を考え、自分の子が持つかけがえない価値を再認識する。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、A4の紙（人数分）、フェルトペン（裏写りしないもの）

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
：	○名札付け（来た順に）	○全員が名札をつける。（ニックネーム可）	※スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
： （5分）	○ファシリテーター（学習支援者）自己紹介、主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。（肖像権）	
： （10分）	<b>アイスブレイク（雰囲気づくり）</b> 「いいとこさがし」 ①紙に大きく自分の名前と長所、短所を一つずつ書く。 ②ペアを作り、紙を交換する。 ③長所はさらに、短所は長所に言い換えて、相手を褒め上げる。	○初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 ○自分では短所と思っていたことが、実は長所にもなり得ることを実感する。  ○必要に応じて、最後に数グループに分ける。 ○グループ内で自己紹介をしている間に、ワークシートを配付する。	・机を撤去  ・グループ数に応じて、机を配置
： （55分）	<b>&lt;読みながら、考えましょう&gt;P2,3</b>  OP2 上の設問に記入（3分） →意見交流（10分）  OP2 下、P3 上の設問に記入（7分） →意見交流（15分）  OP3 下の設問に記入（5分） →意見交流（15分）	○三つの約束（発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守）、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。（パス有り） →「学力」というモノサシに縛られている自分を実感する。  →日常での「くらべる」ことの多さに気付く。  →「くらべる」ことの功罪について、考えを広げ、深める。 ※「くらべることはいけない」という価値の押し付けにならないように、配慮する。	
： （20分）	<b>&lt;さらに考えましょう&gt;P4</b> ○文章をゆっくり朗読しながら、P4の設問に記入 ○フリートーキング	○「くらべられる価値」が、実は価値の一部にしか過ぎないことを、実感する。	
： （15分）	<b>&lt;学習を振り返りましょう&gt;</b> ○ワークシートへの記入 ○ファシリテーターの話		
： （5分）	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
〈メモ〉			